

AAS003-02

会場: 301B

時間: 5月27日11:00-11:15

SMILES日変化微量成分L2プロダクトについて

SMILES L2 products for diurnal variable species

鈴木 睦^{1*}, 高橋 千賀子³, 光田 千紘³, 林 寛生², 岩田 芳隆¹, 今井 弘二⁴, 眞子 直弘¹,
佐野 琢己¹, 塩谷 雅人²

Makoto Suzuki^{1*}, Chikako Takahashi³, Chihiro Mitsuda³, Hiroo Hayashi², Yoshitaka Iwata¹,
Koji Imai⁴, Naohiro Manago¹, Takuki Sano¹, Masato Shiotani²

¹ISAS/JAXA, ²京大生存圏研, ³富士通FIP, ⁴とめ研究所

¹ISAS/JAXA, ²RISH/Kyoto Univ., ³Fujitsu FIP, ⁴Tome R&D Inc.

国際宇宙ステーションで稼働中のサブミリ波リムサウンダーSMILESは、4K冷却された高感度SIS検出器により、成層圏・下部中間圏の日変化する微量気体(中間圏O₃, ClO, HO₂, BrO)をこれまでに無い高感度・高精度で検出できる見込みである。ここではISAS/JAXAが担当するL2標準プロダクトにおける日変化微量気体の処理状況と得られたデータの妥当性について報告する。

キーワード: 国際宇宙ステーション, 成層圏, 中間圏, 極微量気体, 日変化, サブミリ波

Keywords: Diurnal variation, trace species, stratosphere, mesosphere, International Space Station, submm